

下野の杜

神宮大麻全国頒布百五十周年

天皇陛下 御製

世界との往き来難かる世はつづき
窓開く日を偏に願ふ



季刊誌「皇室」94号（日本文化興隆財団企画・扶桑社刊）から転載

歌会始お題「窓」

なすひかり 栃木県北部で育まれたオリジナル品種

米本来の甘みと旨みがある・大粒で食べ応えがある・寒さに強い

平成十七年に開発された栃木県オリジナル品種。寒さに強く県北部での生産に適していることから、避暑地として人気の『那須』高原のさわやかなイメージにあやかりたいという願いと、このお米が「コシ」ビカリ」系統であることから「なすひかり」と名付けられました。



あさひの夢 外食・中食を支える、県内2番目の作付け量

さっぱりした味わい・やや大粒・栽培しやすい

明治時代に開発され、その美味しさが評判となった『旭』米の性質を受け継いでおり、長年に渡り品種改良に携わってきた多くの人の『夢』が実現した品種であるという思いから「あさひの夢」と命名されました。

県内二番目の作付け量である「あさひの夢」は、主に県南で栽培され、安定した良質なお米を大量に求める外食産業や中食企業から根強い人気があります。



写真・資料提供…一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会

編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大は、連綿と受け継がれてきた祭祀の厳修に甚大な影響を与え続け、各社の役員・総代・世話役の皆様には、神社と地域・氏子との橋渡しも含め、一方ならぬご高配を賜り、誠に有り難く存じております。

三年目を迎えたコロナ禍の中、かつての祭祀を取り戻すべく舵を切るお社、見合わせるお社。疫病退散の祈りは同じであっても、判断の分かれることとなりました。

神社の祭礼のみならず、地域の行事が一時も早く本来の様式で賑々しく執り行われますよう願ってやみません。

明治天皇御生誕百七十年、神宮大麻全国頒布百五十年、沖縄本土復帰五十年。大切な節目の年を迎えた本年、斯界が掲げる綱領を改めて記し、後記と致します。

一、神の恵みと祖先の恩に感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそむこと
一、世のため人のために奉仕し、神のみこともとちとして世をつくり固め成すこと
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

編集部門長 岩松 史恵

編集副部門長 毛利 晴喜

部門委員

和氣 洋誠・大河原 肇
小林 迪寛・稲 信子
柳田 耕史・関谷 秀
大柿 文彦・柳田 晋作
滝口 貴史・津田 宏
板垣 喜充・増瀬 元
提箸 照之

ホームページアドレス

<http://www.tochigi-jinjacho.or.jp>